

市民の願いとどける 日本共産党の4議席



市長・市議の改選から半年。日本共産党市議団は議会内での取り組みに加え、感染症対策や物価高騰対策、熱中症対策を市

長へ要請。また、市民的怒りが広がった「サラリーマン増税」の撤回を求める等、国・県・市への予算要望に取り組んでいます。

バス交通

「値上げやメテ！」の声を無視するな 足の確保を

グリーンバス料金値上げに対し、市民から多数の反対意見が…。
しかし、値上げは強行され、民間バス2路線も廃止される方向です。
収支率や採算のみを指標とするバス運行から、地域住民の「足の確保」という目的のために、官民の協働が重要です。地域公共交通は根本から見直すべきです。



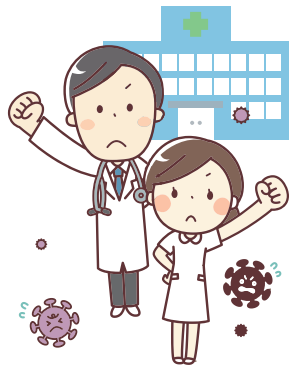
免許返納支援「1年」限定?

免許返納者への支援がスタート。日本共産党市議団の提案も美り、タクシー券も導入に。しかし支援は「1年」限定、75歳未満は対象外…あまりに「不十分」です。

コロナ対策

感染拡大防止へ 市の役割果たせ

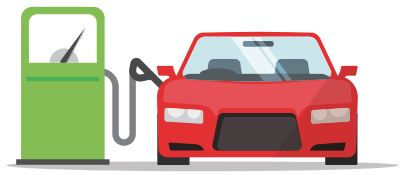
新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行で学級閉鎖が次々と。日本共産党市議団は、公費負担の削減により薬代が9千円にもなることを告発。専用病床確保に向けた補助復活を提案しました。しかし、市



市議会 ねほりはほり

「ガソリン、リットル175円は安い」 市長答弁にビックリ

物価対策について、市議会でもやっと強化を求める声が増えてきました。また国民世論に押され、電気やガソリンへの補助延長を政府が表明。しかし、「負担を軽減するために、ガソリン価格は175円を水準に…」との岸田首相の発言や「ガソリン、175円は安い」と断言した市長に市民の生活感は感じられません。市民に寄りそう政治が求められています。



教育

不登校400人超 きめ細やかな支援を

不登校の小中学生が約29万9千人。10年連続で増加し、過去最多（文部科学省調査）を憂慮する声広がっています。市内でも不登校の児童生徒は400人超に。日本共産党市議団の要望もあり、不登校等を所管する担当室では、教員免許保有職員以外に、スクールカウンセラーを増員。しかし市長の方針により、体制の7割弱は非正規雇用。さらなる改善が急務で



身近な要求実現



横断歩道の安全対策 (流山北小学校前) いぬいえり



交差点の舗装・整備 (富士見橋) 高橋あきら



念願！ベンチ設置 (江戸川台14号公園) 植田和子



歩行者安全「検討」約束 (根方道路) 小田桐仙